

大阪府立富田林中学校に関するFAQ(よくある質問とその回答)

I 教育内容

Q1.	中高一貫教育の6年間でどのような生徒を育成しますか
⇒	富田林中学校・高等学校では、「地球的視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献する人材の育成」を教育目標としています。その達成のために「社会貢献意識と地域愛」の醸成をベースに「グローバルな視野とコミュニケーション力」、「論理的思考力と課題発見・解決能力」を身につけ、「高い志と意欲を持って主体的・協働的に考え行動できる生徒」を育成します。
Q2.	中高一貫校として、どのようなカリキュラムの特徴がありますか
⇒	6年間の継続した学習指導の利点を生かし、カリキュラムの工夫による発展的な学習が可能です。中学校段階において、数学と英語は高校の学習内容を含めた発展的な内容を取り扱います。 また、海外交流を含めた豊富な体験学習をはじめとする学校行事など、21世紀を生きるたくましいグローバル人材を育成するためのカリキュラムや、「探究」と「貢献」をキーワードとした教育活動を企業・大学等と連携し、協働で実施しています。
Q3.	6年間の学びの中で、どのような進路をめざしますか
⇒	6年間の教育課程を通して、本校の教育目標に示した生徒を育成したいと考えています。生徒自身が高度な学問を学ぶ意欲を持って大学進学を検討できるようになることをめざします。その上で、多数の生徒が難関国公立大学、難関私立大学や海外の大学に進学し、将来、地域社会や国際社会で貢献することをめざします。
Q4.	中高での6年間の学習でどの程度の英語力を身につけることができますか
⇒	英語で自分の意見をまとめてプレゼンテーションをしたり、議論をすることができる力を身につけることをめざします。そのために、具体的には、週5時間の授業を中心に、朝のホームルームや総合的な学習の時間も活用して、英語に触れる機会を大幅に増やします。また、英語によるコミュニケーション力や豊かな国際感覚を育むためにイングリッシュキャンプや海外修学旅行を行います。 高校では、さらに英語の授業時間が増えたり、海外から生徒を受け入れたり、海外修学旅行で探究学習の内容を発表するなど、英語を用いる機会もより多くなります。
Q5.	海外研修はありますか
⇒	中学3年生と高校2年生の全員を対象に海外研修旅行(修学旅行)を行います。中学3年生では台湾の姉妹校(中高一貫校)との交流をしています。 また、希望者に対し、グローバルリーダー育成海外研修(中学1・2年ではグローバル社会での「多様性」を体験する「マレーシア研修」、中学3年・高校1年では「英語力の向上」を中心とした「オーストラリア研修」、高校1・2年では「社会貢献」をキーワードとする課題研究「アメリカ研修」)を計画しています。
Q6.	富田林中学校から富田林高校へ進学する生徒と、高校受験で富田林高校に入学してくる生徒と、クラス分けはどうなるのでしょうか
⇒	高校2年生から混合したクラスになる予定です。また一部の教科・科目は進路希望別や習熟度別の編成とする予定です。
Q7.	苦手な教科があった場合、学校としての対策はありますか
⇒	放課後に学習優先日(毎週火曜日)を設け、教員(中学校、高校)のほか外部人材(大学生等)が補習的な学習支援を行います。(⇒「富中未来塾」) また、他の曜日や夏休みにも学習をサポートする期間を設け補習授業(⇒「スタディ・サポート」)を行ったり、希望者には学習相談や自習ができるようにして、苦手な教科などは気軽に質問ができ、苦手意識を克服できるような環境を作っています。
Q8.	中学入学後は6年後の大学受験に向けて塾には1年生から通うほうがよいでしょうか
⇒	中学校では、大学受験を見据えた学習指導を行ったり、家庭学習をしっかりとできるよう課題を与えたりして生徒を支援しています。また、放課後に学習優先日(週1回)を設け、授業の補習的な指導を行ったり、希望者には学習相談や自習ができるようにしています。部活動については休養日(週2回)を設け、家庭学習に専念できるように配慮しています。 これらのことを考慮していただいたうえで、塾に通うかどうかについては各ご家庭で判断してください。
Q9.	教員配置に特色はありますか
⇒	富田林高校の教員が中学校の一部の授業を担当しています。 また、学校運営全般において、中高の教職員が連携し、一体となって取り組んでいます。

II 学校の制度

Q1. 富田林中学校の成績が基準を満たさないと富田林高校へ進学できないのでしょうか
⇒ 富田林中学校・高校は併設型中高一貫校であり、富田林中学校の生徒については、富田林高校への入学者の選抜は行わないこととなっています。そのため、富田林中学校から富田林高校に進学する際には入学試験はなく、所定の期間内に入学許可願を提出すれば全員進学できます。
Q2. 中学卒業時に他の高校を受験することはできますか
⇒ 富田林中学校・高等学校では、学習指導要領で定められた中学校の教育内容の定着はもちろんのこと、併設型中高一貫校で認められている教育課程の基準の特例を活用し、中学校段階において、高校の内容を一部学習するなど発展的な学習内容を取り入れた特色あるカリキュラムを編成しています。 以上のことから、富田林中学校の入学を希望される場合は、富田林中学校と富田林高校で6年間学ぶことを前提にして、志願してください。

III 学校生活

Q1. 入学金や授業料は必要ですか。また、諸経費は他と比較してどうですか
⇒ 入学金や授業料、教科書代は不要です。ただし、一部の教科で高校の教科書を使って学習することがありますが、その際の高校教科書については有償となります。また、高校分野も含めた発展的な学習や中高一貫校用の学力推移調査などを実施しており、そのための教材や学力調査実施に関する費用がかかります。制服や体操服、実技教科に必要な物品などは一般の公立中学校と同程度の費用となります。宿泊行事は、イングリッシュキャンプ、海外修学旅行を予定しており、それらにかかる経費などが別途必要となります。 具体的には、制服や体操服、カバン、水着、男子の柔道着、各教科の副教材、実技教科に必要な物品などで入学時に10万円程度です。2月中旬～3月上旬に採寸や物品販売を行う予定です。 また、それとは別に日々の朝学習の教材や生徒手帳、学力推移調査実施などに関する費用、上記宿泊行事費の積立として年間12万円程度、給食費として年間5万円程度かかり、4回に分けて納入していただきます。 なお、これらの費用については、今後、多少の変更があることをご確認ください。
Q2. 中学校は制服はありますか
⇒ 中学校は制服を設定しています。これは高校のものと同型であり、高校進学後も着用可能です。(ボタンやネクタイなど、一部変わります)
Q3. 通学方法の決まりがあるのでしょうか(主に自転車通学)
⇒ 保険加入やヘルメット着用などの一定の条件を満たした場合に自転車通学を認めます。
Q4. 中学校の校則は高校とは別でしょうか
⇒ 中学生は発達段階が高校生徒とは異なりますので、よりきめ細かい指導が必要となります。したがって、校則は異なります。 なお、携帯電話・スマートフォンの持ち込みについても中学校では許可申請制となっております。
Q5. 学校内では中高生徒間でどのような関わりがありますか
⇒ 文化祭や体育祭等の行事を合同で実施したり、部活動では活動内容によっては合同で行っています。
Q6. いじめ問題への対策はありますか
⇒ 「いじめ防止基本方針」を策定し、全教員でいじめ防止及び対応にあたり、すべての教育活動において人権教育を推進しています。
Q7. 高校2年生からコース別のクラスになりますが、希望のコースを選択するにあたり人数・成績などの制約はありますか
⇒ 専門コース(GEコース)は人数制限がありますが、標準コースでは希望に従って文系又は理系に進むことができます。
Q8. 中学校のみの生徒会がありますか
⇒ 生徒会活動は中学校と高校それぞれで行います。また、活動内容によっては連携して取り組んでいます。

IV 学校設備

Q1. 学校の設備について、特徴的なものはありますか

⇒ ホームルーム教室・講義室・体育館・食堂にエアコンを完備しています。また、ホームルーム教室や講義室にはICT機器(電子黒板機能付きプロジェクタ、書画カメラ)も設置しています。
平成30年6月には、富田林高等学校同窓会を中心とした支援により「岸本記念中高一貫コンセプトホール」が完成しました。同館は、講演や探究活動の発表会などに活用する階段状の大講義室(全中学生360人収容可)や、授業に活用できるセミナー室(40人収容が3室)などを有しています。

V 部活動

Q1. 部活動は高校生と合同で行われるのでしょうか

⇒ 活動内容によっては、合同で行うことがあります。

Q2. どんな部があるのでしょうか

⇒ 令和2年度に開設している部は、運動部は男子バスケットボール部、男子ソフトテニス部、女子バレーボール部、バトントワリング部、女子硬式テニス部、サッカー部で、文化部は茶道部、ユネスコ部、写真部、科学部、書道同好会です。

Q3. 部活動以外のスポーツ等の活動に参加する時間はありますか

⇒ 部活動以外のスポーツや地域活動等に参加することは可能です。通学時間・体力・健康面等については個人差もありますので、各ご家庭の状況に応じて判断してください。

VI 給食

Q1. 中学校は全員給食とありますが、学校で作られるのでしょうか、それとも外注でしょうか

⇒ 中学校の給食は、外部の給食業者が調理したものを、学校内で温めて配膳するデリバリー式給食を実施しています。

VII 入学者選抜

Q1. 私立中学校との併願は可能ですか

⇒ 併願は可能ですが、合格者発表の後、入学の意思を確認するために、合格者に対しては数日中に「入学確約書」の提出を求めています。
また、入学を辞退する場合は、「入学確約書」の提出期限までに「入学辞退届」を提出いただきます。

Q2. 入学者選抜に向けて、今からどのような生活を送る事が大事ですか

⇒ 小学校の授業をしっかり受け、学習内容を理解することが大切です。その中で、分からないことや疑問に思った点は自ら進んで調べるなど、自分で積極的に解決しようとしてください。思考・判断・表現の力や記述の力が必要な問題等に対しても、諦めずに粘り強く取り組むよう心掛けることが大切です。

Q3. 入学者選抜の出題範囲や出題方針はどうなっていますか

⇒ 入学者選抜に係る情報については、以下の大阪府教育庁のWebページをご覧ください。
http://www.pref.osaka.lg.jp/kokosaihenseibi/minamikawachi_tyuko/index.html

Q4. 入学者選抜では、小学校の成績なども合否には関係してきますか

⇒ 富田林中学校の選抜に際し、小学校での成績や所見を記載するような調査書の提出は求めています。